

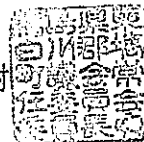
收受年月日	議 長	事務局長	書 記
7・12・1			
第 74 号			

令和 7 年 12 月 1 日

埴町議会議長 鈴木 孝則 様



予算決算常任委員会委員長 七 宮 広 樹



所 管 事 務 調 査 報 告 書

本委員会は、所管事務の調査を下記のとおり実施したので、埴町議会会議規則第 77 条の規定により報告する。

記

1 調査事件 埴町振興計画について

2 調査の経過

本委員会は、令和 8 年度から令和 10 年度を計画期間とする埴町振興計画について調査した。

調査日 令和 7 年 11 月 28 日（金）

出席委員 予算決算常任委員 12 人

説明員 町長、副町長、教育長及び各機関の説明委任者

職務出席者 議長、議会事務局長、書記

場所 議場

3 調査の結果

(1) 結果

計画期間の歳入歳出見込み額は、次の表のとおりである。（単位百万円）
なお、令和 10 年度末財政調整基金の額は、474 百万円とのことである。

見 込 額	8 年度	9 年度	10 年度
歳 入	6,011	5,625	5,424
歳 出	6,011	5,625	5,424
財政調整基金残高	535	535	474

個別事業計画について、説明員から概要説明を受け計画案全般を了承としたが、事業継続の必要性や対象者の見直し、優先順位等を十分精査した上で、効率的効果的な行政運営ができる予算計上を望む。

(2) 主な質疑

質：中期財政見通しにおいてガソリン税暫定税率廃止の影響を歳入で見込んでいるのか。廃止に伴う影響は。

答：振興計画上は反映していない。廃止の影響は、仮に令和 6 年度地方揮発油税剰余金で算定すると、13,785 千円のうち減収額 2,221 千円と見込んでいる。なお、減収額は地方交付税算定上基準財政収入額に含まれ、減収分は地方交付税で措置されることから、町への直接的な影響はないと考えている。

質：竹活用推進事業補助金について、令和 8 年度で終了するとのことだが、竹パウダーを利用している農家への対応は。

答：地域おこし協力隊に竹パウダー製造をお願いしたいが、募集しても集まらない。竹切りはシルバー人材センターを活用していく。

質：地域おこし協力隊は、町として林業振興のみ募集していくのか。

答：移住定住の関係でその他の分野でも希望者を募っているが、希望する人がいなかった。自転車に関しては地域活性化起業人制度の方で対応している。

質：立地適正化計画策定事業及び都市計画基礎調査事業について、3 か年にわたり 3,000 万円程度を計上している。成果物の修正が課内で可能なものか。投資に見合ったものか。

答：計画立てて終わりとならないよう、変更・修正が容易な事業者に発注していきたい。

質：こども園保育部保育室床改修工事において、塩ビシートを貼る糊材のアレルギー対応は。

答：今年度 0 歳児の保育室で緊急に実施している。業者と協議してアレルギー対策をした材質で実施する。

質：スポットクーラーレンタルについて、各学校 1 台で足りるか。

答：令和 6 年度に試験的に実施し、容量が足りず効果が薄かった。容量を上げて対応する。今後実施しながら効果を検証し検討していく。

質：デマンド交通実証運行事業について、実施地域が増えている中、公用車 3 台で足りるか。

答：5 地区で実施しているが、利用がない地区もあり 3 台で対応可能と考える。

質：学校等給食費賄材料購入事業について、国として無償化を検討している報道があるが、話はあるか。

答：詳細はまだ届いていないが、把握している範囲では全国平均額の定額補助と聞いている。ただ、町の単価より安い金額で設定されている。